

# 平成28年度 関西福祉科学大学 卒業・修了証書 学位記授与式

## 学長式辞（全文）

大学正門脇、原川土手の桜の蕾がかなり大きく膨らんでまいりました。  
この良き日に、学部を卒業する皆さん、大学院を修了する皆さん、卒業・修了おめでとうございます。

教職員を代表して心からお祝い申し上げます。

入学以来、志を持続させ今日の日を迎えられた皆さんの頑張りに敬意を表します。また、今日までの長い期間を、卒業の日を楽しみに支えられてこられた保護者の皆様にも心からお慶びを申し上げますと同時に、本学の教育活動にご理解とご支援をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。



理事長をはじめ来賓の皆さまには、ご多忙のなかお越しくださり、共に卒業をお祝いくださることに感謝申し上げます。

さて、最近の世界情勢を見ていると非常に残念に思うことがあります。それは、自分が恵まれないことの原因を、自分とは異なる社会的集団に属する他者のせいにし、異質なものを排除しようとする傾向があらこちらで見られることです。これらは、自由、人権、平等、実証科学、民主主義、立憲主義など、近代から現代にかけて、先人の努力によって人類共有の倫理となったものを歪めかねないという点で大きな問題があります。

フェイクニュース（嘘のニュース）やポスト・トゥルース（ポスト真実）など、事実を意図的に偽ったり、論理ではなく感情ばかりを優先させて、自分の主義主張を押し通そうとする行為は、「全ての人々が幸せな福祉社会の構築に、科学的に取り組むこと」を目指す本学の設立理念とは真逆のものであると指摘せねばなりません。そこで、卒業生・修了生の皆さんに一つお願いがあります。

多様性を許容し、協同により、未来を創造することが、本学を卒業し社会人となる皆さんのこれからの使命であることを忘れないで下さい。皆さんは「誰かの役に立つ仕事に就きたい」と、本学に入学されました。人間を相手にする仕事を選んだ以上、世の中には自分と異なる多様な人間が存在することを了解し、それらの人々と協同して共に生きていくということを、常に志して進んでほしいと思います。

ただし、そのためには、高度な知性、たしかな倫理観、優しさや包容力、豊かなイマジネーションなどがが必要です。ただ、その獲得は簡単なことではありません。

人間の多様性を理解する能力や、相手が何を望むのか、どのような考え方を持つのかを的確に推論する力は、自分が好きで面白いと思えるものだけを対象にして生活するような、自己中心の小さな世界に閉じこもる生き方からは育たないと思います。つまり、「見たいものだけを見る」、「知りたいことだけを知る」ことを考え直すこと、再考せよということに他なりません。


知性やイマジネーション、他者への思いやりや倫理観は、時に自分が苦手な人との付き合いや、あまり関心が持てない事柄にも好奇心を持ち挑戦するなど、常に「学び続ける」姿勢から育つのではないかと思います。受け身ではなく、自らすすんで様々な事柄を学ぼうとする姿勢や態度を持ち続けてくれるよう望みます。そうすれば、皆さんはそれぞれに、数十年後にはそれぞれの職場や地域で基幹となる人間になるはずと確信しています。

本学では、全学同窓会の下、各学科で研究会や学会などを催して卒業後の再教育体制を強化しています。卒業した皆さんが幅広くたゆまず学んでいただく機会を増やしていますので活用下さい。

大規模大学でないメリットとして、本学の教職員は皆さん一人一人を知っています。個人として誰なのかを分かっています。困難に出会ったら、これからも教職員に連絡を取り、そのつながりを活用して下さい。

最後に、今日卒業・修了する皆さんが、生き生きと幸せな人生を送られることを心からお祈りし、お祝いの言葉と致します。

平成29年3月22日

 関西福祉科学大学 学長 八田武志